



柴胡疎肝湯 (さいこそかんとう)

【処方コンセプト】 ストレスにより、胸脇や腹などが張るように痛む方。

四逆散（柴胡、芍薬、枳実、甘草）の加味剤のひとつで、肝気鬱結に用いる代表的な処方である。胸脇部の張った痛み、胸部や腹部の遊走性の痛み、胸苦しさなどを訴え、女性では生理にトラブルが発生しやすいのが特徴である。とにかく不定愁訴が多く、その痛みも機能亢進によるものである。

◆肝気鬱結とは、精神的ストレスによる症状をさす。気の巡りが悪く、イライラ、憂うつ、胸脇部の張り、ため息などの症状を呈する。女性では、生理時に乳房が張って痛む、生理痛、生理不順などの症状もみられる。

	柴胡	薄荷	桂皮	生姜	黄芩	山梔子	牡丹皮	甘草	大棗	土竜甲	人参	茯苓	白朮	桔梗	半夏	陳皮	檳榔子	枳実	青皮	香附子	川芎	当帰	芍薬	呉茱萸	生薬数
柴胡疎肝湯	○							○										○	○	○	○		○		7
柴芍六君子湯	○			○				○	○		○	○	○		○	○							○		10
柴胡桂枝湯	○		○	○	○			○	○		○				○								○		9
加味逍遙散	○	○		○		○	○	○				○	○									○	○		10
延年半夏湯	○			○						○	○			○	○		○	○						○	9

処方名	類方鑑別
柴胡疎肝湯	ストレスにより、胸脇や腹などが張るように痛む方に。
柴芍六君子湯	胃腸虚弱で、食べるとお腹がすぐに一杯になる方の胃痛・腹痛に。
柴胡桂枝湯	イライラして、疲れやすい方の胃痛、腹痛に。肩こり、食欲不振も伴う。
加味逍遙散	神経を使うため、何となくイライラしてのぼせる方に。
延年半夏湯	肩こりがあって、胃が痛む方に。肩こりのほか左側に症状がでやすく、足首の冷えなどもある。